【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成26年4月24日(2014.4.24)

【公開番号】特開2011-210713(P2011-210713A)
【公開日】平成23年10月20日(2011.10.20)
【年通号数】公開・登録公報2011-042
【出願番号】特願2011-49749(P2011-49749)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ　4/13　(2010.01)
Ｈ０１Ｍ　4/139　(2010.01)
Ｈ０１Ｍ　4/131　(2010.01)
Ｈ０１Ｍ　4/1391　(2010.01)
Ｈ０１Ｍ　4/136　(2010.01)
Ｈ０１Ｍ　4/1397　(2010.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ　4/02　１０１
Ｈ０１Ｍ　4/02　１０８
Ｈ０１Ｍ　4/02　１０２
Ｈ０１Ｍ　4/02　１０９
Ｈ０１Ｍ　4/02　１０６
Ｈ０１Ｍ　4/02　１１３

【手続補正書】
【提出日】平成26年3月7日(2014.3.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
正極と、前記正極と電解質を介して対向するように設けられた負極とを有し、
前記正極は、集電体と、前記集電体上に設けられた活物質を含む膜と、前記活物質を含む膜上に設けられた炭素膜とを有し、
前記集電体と前記活物質とが接していることを特徴とする蓄電装置。
【請求項２】
正極と、前記正極と電解質を介して対向するように設けられた負極とを有する蓄電装置の作製方法であって、
前記正極の作製工程は、集電体上に乾式法を用いて活物質を含む膜を形成した後、前記活物質を含む膜上に乾式法を用いて炭素膜を形成する工程を有し、
前記活物質を含む膜は、複数の活物質粒子を含み、
前記作製工程では、前記炭素膜が前記複数の活物質粒子の間に侵入し、且つ、前記集電体と前記活物質とが接するように、前記正極を形成することを特徴とする蓄電装置の作製方法。
【請求項３】
正極と、前記正極と電解質を介して対向するように設けられた負極とを有する蓄電装置の作製方法であって、
前記正極の作製工程は、集電体上に湿式法を用いて活物質を含む膜を形成した後、前記活物質を含む膜上に乾式法を用いて炭素膜を形成する工程を有し、

前記活物質を含む膜は、複数の活物質粒子を含み、
前記作製工程では、前記炭素膜が前記複数の活物質粒子の間に侵入し、且つ、前記集電体と前記活物質とが接するように、前記正極を形成することを特徴とする蓄電装置の作製方法。